生団連共催　　消費者・事業者・行政による
～食品ロス削減シンポジウム～

11月30日（木）、東京都、日本生活協同組合連合会と生団連が「食品ロス削減シンポジウム」を共催いたしました。当日は事務局中川より「食品ロス削減に向けた生団連と会員企業の取り組み」というテーマで事例報告を行いました。消費者と企業が「国民の生活・生命を守る」という理念の基に協力する生団連らしく、食品ロス削減においても、消費者と企業は協力できるという点を熱く語りかけました。また質疑応答でもご来場の方に対し、買い物前の冷蔵庫・冷凍庫の在庫確認の大切さや、賞味期限の短いものを購入することは事業者の食品ロス削減に貢献する消費活動であるといったことをお話させていたしました。

▲事例報告を行う事務局中川マネジャー

▲質疑応答の様子

家庭から出る食品ロスだけでなく、事業者から出る食品ロスにも僕たちができることはあるんだね。これからは、すぐ食べるものなら奥から取らずに、期限が短いものを進んで購入しよう！

食品ロスの削減には企業、行政、消費者とみんなの協力が必要だと分かったわ。とても大きな問題だけれど、一人一人が自分でできることからやっていくことはとても大切だね！